

暮らし・定住・未来創造

広報

# しんじょう 11

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.731



新庄市役所 Tel22-2111  
ファクス22-0989

新庄市ホームページ  検索  
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>  
メール info@city.shinjo.yamagata.jp



ユネスコ無形文化遺産  
国重要無形民俗文化財



みんなにやさしいまちへ。  
「障がい」を知る



いずみ さとし  
和泉 覚士さん

友愛園を利用する和泉さんは、普段から活動の一環として絵を描くことを楽しんでいます。左の絵画も和泉さんが手掛けたもので、「稲刈り」(左上)、「収穫」(右上)、「秋」(中央)という題名。いずれも秋をテーマに制作したもので、自身の持つ技術と感性が見事に活かされた芸術作品となっています。



### 📷 表紙の写真

カーリングを模した体育館などのフロア上で行う競技「カローリング」。老若男女や障がいの有無を問わず楽しみながら競うことができるこの競技は、各地で大会も開催されています。

本写真は、過去にさまざまな大会で優勝経験のある市身体障害者福祉協会所属 矢口真澄さんの一投を収めたもの。

## 広報

# しんじょう 11

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.731

### 目次◎CONTENTS

特集 / みんなにやさしいまちへ

～“障がい”を知る～

- 4 密着!グループホームでの生活
- 6 お仕事拝見
- 8 障がい者 秋の活動紹介
- 10 精神科医療を取り巻く現状  
障がい福祉サービスQ&A
- 12 障がい児支援現場で活躍する  
三者による座談会
- 18 2年目のしんじょうラボ
- 19 最上広域事業・決算
- 20 図書館に行こう!
- 21 お知らせなど
- 24 連載 ものづくりの街しんじょう

## 市長コラム

山尾順紀

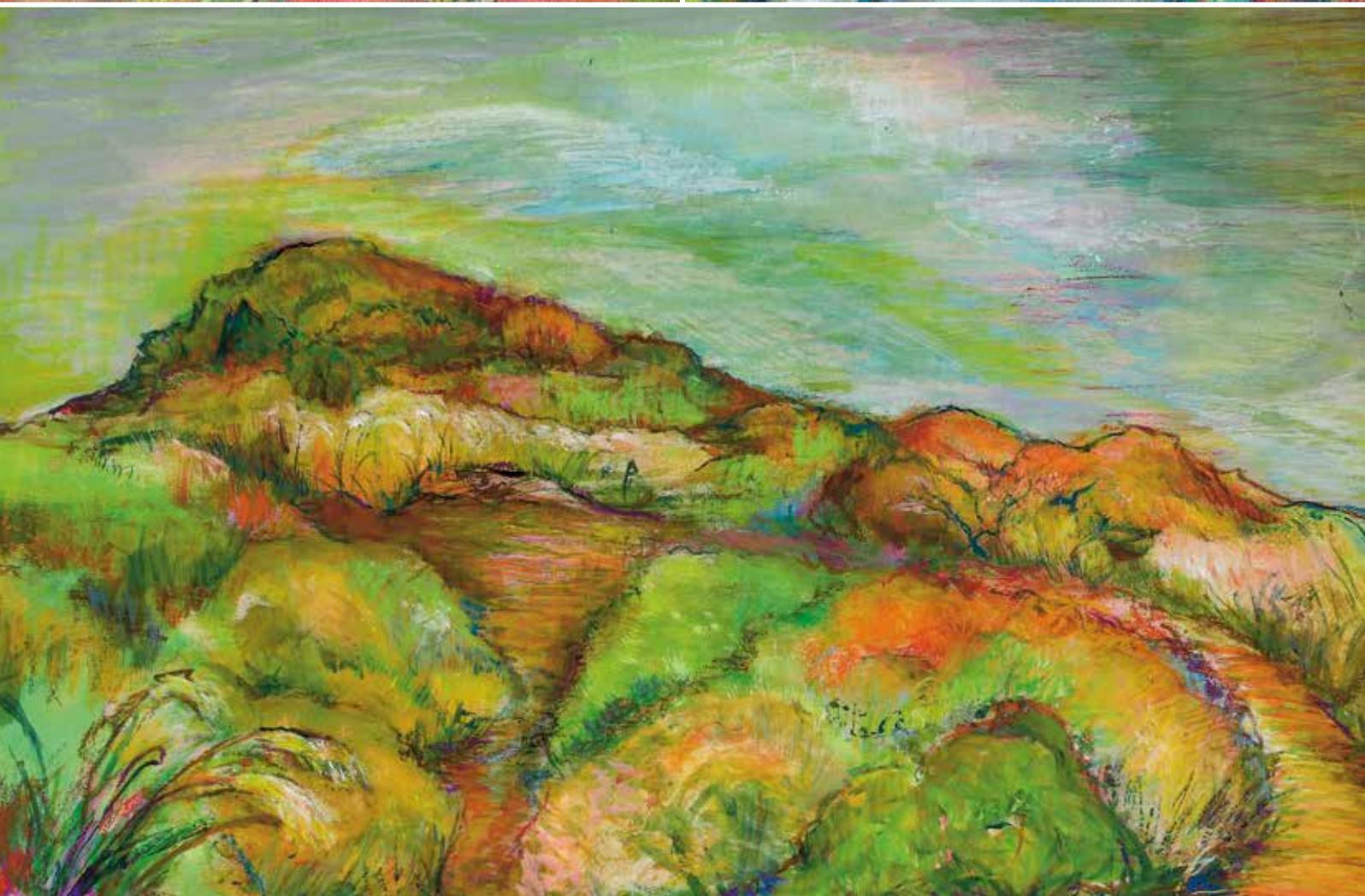


障がい者にやさしいまちづくり

二十数年前、私が市民プラザ勤務の折。当時、障がいをお持ちの議員がおられ、トランクを開けて車いすを出し、運転席の脇まで持ってきて来て欲しいという依頼が何度もありました。ある時、「なぜスロープが必要か」ということを語り始めました。「障がい者は、本当は誰の手も借りずに自力で頑張ろうとするものだ。障がい者のためにというのはなく、大きな荷物や重いものを、高齢者や女性などが運んだりするときこそ、スロープが必要なんだ」とおっしゃいました。障がい者への配慮というより、皆が困らないようにすることが大切だと。ことさら「〜のために」という上から目線ではなく、ごく普通に、そこに困っている人がいれば困らないようにすることが大切であると気づかされました。

障がいもさまざまです。障害者手帳などなくても、人は誰しも老化により身体機能が低下し、これに起因する障がいもあります。人生百年時代、まちの在り様も大変難しくなっています。自分のことは自分でと思いつつも、寄る年になれないというのも現実です。特に、訪れる冬將軍対策は、公から私に移っています。「わかっていても体が言うことをきかなくなつた」「七十歳と八十歳でこんなに違つとは思わなかつた。一年一年違つてくる」という話をよく耳にします。

来年は、市制70周年。障がい者にやさしいまちづくを提案しています。皆が超高齢者になる時代であるからこそ、障がいがあってもなくても、誰もが住みよいまちになるよう努めてまいります。



## みんなにやさしいまちへ。～“障がい”を知る～

市が実施している「まちづくり市民アンケート」の中の「障がい者の自立生活の支援が充実しているか」という設問で、満足しているという回答は、例年10数%と低い値で推移しています。今、この地域に何が必要なのかを考えるためには、日頃から障がいのある人と接する機会が少ない人が、障がいや障がい福祉について知り、理解することが必要です。

差別や偏見が横行していた時代もあり、そもそも関係する情報が発信されにくい分野でもありました。しかし、日本を含めた多くの国が障害者権利条約に批准し、障がいによる生活しにくさを解消するために社会が積極的に行動することが求められる今、また高齢化社会で、いつかは誰もが何らかの支援を必要とする世の中にあって、障がいや障がい福祉は他人事ではありません。精神障がいや発達障がいと診断を受ける人も増加傾向にあります。

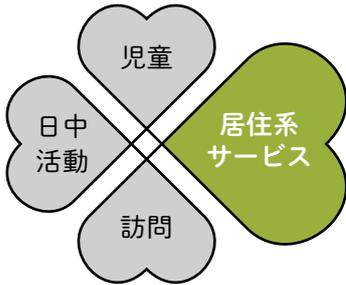
今月はこうした情報について、実際に支援を行う事業所スタッフなどに紹介していただきます。

密着!

# グループホームでの生活

「住むこと」に関する障がい福祉サービスであるグループホームや入所施設。何か特殊な場所のように感じる人も多いかもしれませんが。でも実際は？ グループホームでの日常生活、少し紹介します。

障がい福祉サービス



自宅以外の住まいにおける日常生活を支援。施設入所支援、共同生活援助(グループホーム)など。



朝礼の後、自分の机で仕事を開始



送迎バスで出勤



机をきれいにして昼食



硬式野球ボール作りに集中

1日のスケジュール

6:30	起床
7:00	朝食&身支度
9:00	出勤(送迎バス)
10:00	就労
12:00	昼休憩
13:00	就労
16:00	帰宅(送迎バス)&入浴
18:00	夕食
19:00	自由時間
21:00	就寝



グループホーム  
こころなや

指定相談支援事業所ピース  
齋藤 有美 さん



グループホームと聞くと、施設的なイメージを持つ人が多いようですが、実際は左の写真のような一般住宅とほとんど変わらない場所です。アパート・マンション・住宅などのタイプがあり、世話人が料理などの家事をしてくれます。共同で生活することになるグループホームで、居住者は人との関わりを大事にしなが、楽しそうに暮らしています。

▶共有室

▶玄関

◀居室

◀バスルーム



17:00 世話人が夕食を作っている間に入浴



16:00 一日の仕事を終えて帰宅



12:30 休憩中に友達と談笑



19:00 自由時間でテレビを見たり、大好きな音楽を聞いたりしてくつろぎます



18:00 グループホームの皆で食卓を囲んで夕食



指定就労継続支援(A型)  
ピース東山  
三浦 美紀 さん

今回の密着はここまで。取材の感想を聞いてみると「自分が市報に出るのを楽しみにしています」と笑顔で語ってくれました。そこには明日、そしてその先の未来への希望を感じている姿がありました。

今回の密着はここまで。取材の感想を聞いてみると「自分が市報に出るのを楽しみにしています」と笑顔で語ってくれました。そこには明日、そしてその先の未来への希望を感じている姿がありました。

彼女の仕事は野球ボールの修理の環で、ボールの芯に糸を巻き、重さ・大きさ・形を整えるというもの。慣れた手つきでその職人技を披露してくれました。熱心に作業してため、昼休憩にはお腹がペコペコな様子。少しカメラを気にしながらも、お弁当を食べ、友達と仲良く談笑していました。

彼女の仕事は野球ボールの修理の環で、ボールの芯に糸を巻き、重さ・大きさ・形を整えるというもの。慣れた手つきでその職人技を披露してくれました。熱心に作業してため、昼休憩にはお腹がペコペコな様子。少しカメラを気にしながらも、お弁当を食べ、友達と仲良く談笑していました。

広報担当のメモ



# お仕事

## 拝見!!



障がいを持つ人々が、どこでどんな仕事をしながら社会に関わっているのかをご紹介します。この事業所でも「仕事をすること・社会に関わって貢献できることがすごく楽しくて嬉しい」と話していたのが印象的でした。



たいじゅ  
**大樹**

.....  
ビンを色ごとに仕分け、薬品容器やせ  
ともものといったリサイクルできない物  
を取り除く作業などを行って  
います。



**たんぽぽ作業所**

.....  
食品トレーの収集・運搬・選別など  
の作業を行い、「新庄もがみ方式」  
のリサイクルの一端を担って  
います。



**環境**



**JuJu・マルシェ**

.....  
カフェレストランの中で役割分担を決  
め、食事の盛り付け・配膳・食器洗  
いなどを行っています。



**ライムハウス(来夢家)**

.....  
自分たちで栽培したシトウを収穫し、  
パッケージに詰めて、農協を通して出  
荷・販売などを行っています。



**食品**



**弁当工房そら**

.....  
職員が調理したものを、障がいを持つ  
方々が弁当箱に丁寧に詰めて  
います。完成した弁当は  
各施設に販売されます。



### 入所施設紹介

常に介護を必要とする人が利用  
します。食事や入浴、排泄などの日  
常生活において、支援を受けながら  
暮らしています。

障がいの特性、心身の状態、生活  
能力は人それぞれです。また、それ  
らがいつも同じというわけではあり  
ません。一人ひとりにあった方法で  
求められるニーズに沿った適切な支  
援を行い、快適な生活を提供してい  
ます。

施設には看護師が常勤しているの  
で安心。血圧・脈拍・体温などを測  
定して体調チェックを行います。日中  
は創作的活動に取り組んだり、専門  
的なりハビリで身体機能の回復を  
図ったり。施設の季節ごとのイベ  
ントにも積極的に参加し、楽しい時  
間を過ごしています。

自然いっぱいの環境のなかで、いつも  
あたたかい雰囲気にも包まれています。





コラム

相談支援事業所 ハート・のぞみ



「当事者そして支援者として」

中島 幸生 さん

不慮の事故で頸髄を損傷し、全身性障がいを負って24年になります。当初は出歩くのが恥ずかしくて家にとじ込みがちでした。しかしあるときパソコン教室に参加し、インターネットやメールを覚えました。また、県身体障害者福祉協会によるパソコン講師派遣事業により、在宅で文章作成や表計算ソフトの使い方も教わりました。当事の私にとって、パソコンは最高の友達でした。

その後、同じ障がいを持つ人と出会い、その人が所属する脊髄損傷者の会の催しに誘われたのをきっかけに、少しずつ出歩くようになりました。もともと閉じこもっているのが嫌なほうでしたので、仲間を募って旅行とか、各地の福祉施設見学などにも出かけるようになりました。出かけると、後遺症の痺れや痛みを忘れることができ、何よりも社会参加になります。最高のリハビリテーションだと思っています。

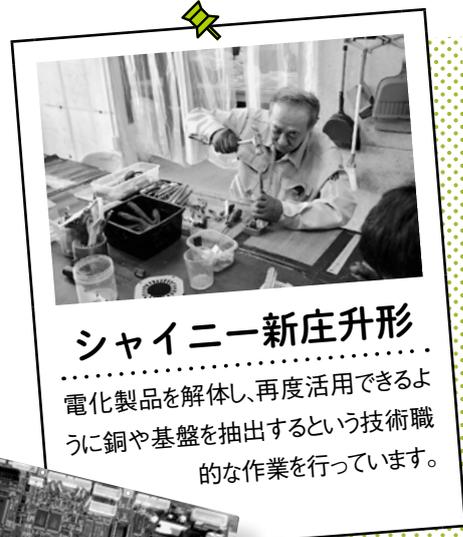
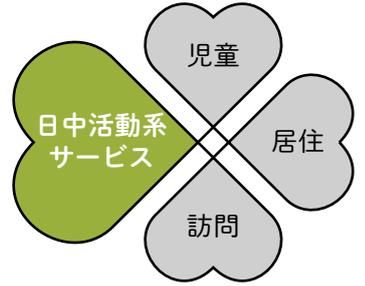
外に出歩いた際、電車を利用すれば駅員さんがいろいろな手配・手伝いをすべてやってくれます。また、頸髄損傷で体温調節がうまく出来ずにぐったりしていると、声をかけてくれる人もいます。最近経験したことで、立派なスロープがあるのに、雪で埋もれて利用できないことがあったのですが、見ていた周りの人たちが手伝ってくれました。こうした、障害者差別解消法という合理的配慮に、ハード的なバリアフリー以上の温かさを感じます。

支援に携わるようになったのは、インターネットで自立生活に関することを知り、全国各地のピア・カウンセリング講座や自立生活プログラムの研修などに出かけるようになったのがきっかけで、現在は市指定特定相談支援事業所の管理者兼相談支援専門員として、障がい者である経験を活かしながら、ピア(同じ背景を持つ仲間)の相談支援をしています。さまざまな障がい福祉サービスの利用提案、介助者とともにできる社会参加、体験談などを話し、少しでもお役に立つことができれば幸いと思いつつ活動しています。

私達障がい当事者も、積極的に社会参加した方が良いと思います。障がいのある方もない方も、同じ社会の一員として、いろいろな所に社会参加することが社会の変革につながるのではないのでしょうか。

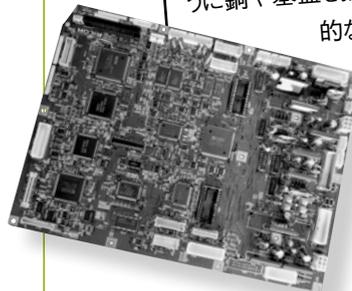
障がい福祉サービス

創作的・生産的活動や就労の訓練などを通して、いきいきと生活するための支援を行います。生活介護、療養介護、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援(A型・B型)、就労定着支援、自立生活援助、短期入所。



シャイニー新庄升形

電化製品を解体し、再度活用できるように銅や基盤を抽出するという技術職的な作業を行っています。



すてっぷハウス

家電などに使われる組み立て前の照明器具を整えたり、説明書を折ったり、梱包しやすいようにする作業を行っています。

障がいがあってもなくても趣味や特技は人それぞれ。それらは日々の暮らしに潤いをもたらします。誰かにやらされるのではなく、自分自身が楽しむことです。趣味や特技を生かしながら、自主的に活動に取り組む姿を追いしました。四季折々のイベントがありますが、今回は「さまざまな秋」を写真でご紹介します。

# 秋



50mを激走



寸分の差でゴール

## 友愛園【運動会】



力強い綱引き勝負



障害物競争

## 運動の秋

## 市身体障害者福祉協会

## 【スポーツレクリエーション】



狙いを定めてフリスビー



カローリングの採点

## さくらはうす



ダンスレッスン



みんなでしっかり準備体操

## 会員募集

身体障がいを持つ仲間と運動や芸術活動などを気軽にやってみませんか？

◎身体障害者福祉協会

TEL23-3008



コラム

指定相談支援事業所 すぎのこハウス



「ていねいにていねいに関わる仕事」

佐藤 明美 さん

「おはようございます」毎朝元気な声で挨拶してくれる、養護学校を卒業して何年経っても変わらないAさん。また、朝の挨拶をしたのも束の間「おうち帰る」と言って歩き出すBさん。

生活介護の利用者さん達は多様な支援を求めています。でも、してほしいことを言葉で伝えられる利用者さんは何人いるでしょうか？話は出来ても、自分の思いを言葉にして伝えることはすごく難しいようです。家に帰りたくて、おうちに帰ると言っているのではないのです。今日も一日楽しく過ごしたいとの思いで具体的な願いを伝えたいのに、朝から何をしたいかなんて、自分自身でもよくわからないのだと思います。

言葉で伝えられない利用者さんの支援をするためには、本人とスタッフとの信頼関係に基づき、表情やその場の状況に応じて言葉をかけていきます。すぐに笑顔になってくれるときもあれば、まったく本人の思いに寄り添えないときもあります。支援とは、ていねいにていねいに人と関わり、人間対人間の気持ちの交流なのだと思います。

この仕事に就いて間もないスタッフは、利用者さんに自分のことを受け入れてもらえないと悩んでしまいます。しかし、この人の心に寄り添いたい、わかりたいという思いを持って必ず気持ちは通じていきます。気持ちが伝わったときや新しい発見をしたときの嬉しさは、何事にも変えがたいもの。まさにやりがいのある仕事だと感じる瞬間です。

手厚い支援が必要な生活介護の利用者さんとのやり取りを紹介しましたが、相談にくる利用者さん達が歩んできた壮絶な人生の話を聞く度に、笑顔で毎日を過ごせようと願わずにはいられません。一度きりの人生を幸せに生きたいという思いは、人間誰しも同じであり、市民の方々の真心に支えられて明日はやってきます。



みんなで芋煮の準備

友愛園

【芋煮会】



さあ、揃って「いただきます」

食欲の秋



おいしく芋煮をいただきました

たんぽぽ作業所

新庄ライオンズクラブ 主催

【芋煮会】



こけし用の座布団制作

芸術の秋



こけしの絵付け

市身体障害者福祉協会

【こけし絵付け体験】

膨大な**情報**を見極め、正確な**知識**を得て、

精神疾患への**偏見**をなくすこと。

平成23年、国はこれまで4大疾病と位置付けて重点的に対策に取り組んできた、がん・脳卒中・心筋梗塞などの心臓病・糖尿病に、新たに精神疾患を加えて5大疾病とする方針を決めました。これは精神疾患対策にも国が予算と時間を投入するということを意味します。

これに伴い、インターネットを含む数々のメディアが発信する情報が増え、このころの医療に関する社会の知識は非常に深まってきています。しかし、このことはメディアがスポットをあてた以外のもの、つまりは取り上げていない出来事に関しては、逆に我々の目から見えづらくなってしまう。過剰な情報は、人間から想像力をたやすく奪ってしまふものです。入ってきた情報は、いったん素直に信じるべきですが、その情報が入りかどうかの検証を決して怠ってはいけないと私は考えます。たくさん情報の中から客観的に情報を見極め、正確な知識を得ることが大切です。なんといっても、知識は力ですから。メンタルヘルスなどの言葉に代表されるように、たしかに精神科を受診することの敷居は低くなってきました。しかし、精神疾患への偏見はまだまだ根深いと言えます。1975年にジャック・ニコルソンが主演した「カッコーの巣の上で」という素晴らしい映画がありますが、この映画で表現されていたような精神疾患への偏見は、映画の上映か

ら40年経った今でも完全には払拭されていないと私は感じています。

おびただしい情報と、まだまだ根強く残る精神疾患への偏見。本人や家族がときに陥りがちな、薬剤やカウンセリングに対する過剰な期待。こうした偏見や誤解の中、我々が行っている精神医療、こころの医療分野は、さまざまな要素が複雑に絡み合いながら、これからもその需要は高まっていくものだと感じています。

希望と絶望。秋の天気みたいに、時折雲間から光が射し込んだり、雨が降ったり、雷鳴が轟いたり…。我々が見ようとする未来の一部分は、そんな空模様のように移ろいやすい。希望だけを未来に見つけたのは、なかなか難しい。かといって、絶望だけになってしまつ(陥つてしまつ)のは好ましくない。絶望に沈む人を照らす一条の光はユモアではないかしら。希望を見つけたのが難しいながらも、絶望するには満たされ過ぎている奇妙な現代です。



◀外来診療に携わる医師とスタッフたち

障がい福祉サービスを利用するには、事前に申請などの手続きが必要になります。「どこで手続きをするの?」、「利用のしかたは?」など相談支援専門員の伊藤さんに聞きました!

市役所や市内6カ所の相談支援事業所に相談を



福祉サポートセンター山形 伊藤 誠司 さん

Q 障がい福祉サービスの利用はどんな人か?

A 身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいを持つ人や、難病の人が利用できます。児童向けのサービスもあります。

Q 利用するにはどうすれば良いですか?

A 市役所や相談支援事業所に相談し、市役所で申請すれば利用できます。申請が完了すると、大切な情報が記載された「障がい福祉サービス受給者証」が交付されます。

Q 相談支援事業所って?

A 障がい福祉サービスの相談を受け、申請時のサポートを行うところです。どんなサービスを利用するのか、どんな目標を持って生活していくのか…。このようなサービス等利用計画を作成し、サービス事業所との連絡調整を担います。市の指定を受けている相談支援事業所は6カ所あります。

Q 相談に料金はかかりますか?

A 無料なので、お気軽にどうぞ。

Q 自立した生活をしたい!でも1人暮らしには不安があります…。



コラム

最上相談支援事業所



「知的障がい者の支援」

山科 早苗さん(左)  
林 明朱さん(右)

現在の新庄市の人口は約3万6千人ですが、その内の6%以上の方は何らかの障がいがあり、ヘルパーさんなどの支援を利用したり、福祉サービスの事業所を利用したりして生活しています。その中で、知的障がい者の割合は12%です。知的障がい者を持つご両親やご家族の方々の心配は尽きないことでしょう。

私たちが生活していくうえで、いろいろな場面で自分で決める・選ぶということがあります。朝起きて今日は何を着ようか、ごはんは何を食べようかなども自己選択です。それは障がいがあっても無くても同じことです。私たち相談支援専門員は、さまざまな福祉サービスを利用するときに、障がい者本人の意思を第一に考えて計画を作成しています。しかし、重度の知的障がい者の方々は意思の確認が難しく、常に一緒に生活しているご家族との連携が必要となります。本人はもちろん、家族みんなが安心して生活できるように、そして本人が生き活きとその人らしく生きていくことができるようにと願っています。

山形県内には知的障がいのお子さんを持つ親御さんたちで構成する「手をつなぐ育成会」があり、地区ごとの活動があります。「新庄最上地区手をつなぐ育成会」では、同じ悩みを持つ親同士で情報交換をしたり勉強会を行ったり、会員のお子さんたちが参加できるレクリエーションを企画したりと、さまざまな活動をしています。また、知的障がいの疑似体験などのメニューを通じて、障がい者の理解と啓発活動を行っている「はながさホープ隊」があります。この会は親御さんだけでなく社会福祉協議会・特別支援学校の先生・一般の方などで構成されており、各地域での活動もあるようです。「手をつなぐ育成会」や「はながさホープ隊」に参加してみたい方は、市役所の成人福祉課へお尋ねください。



医療法人社団 清明会  
新庄明和病院  
池谷龍一 院長

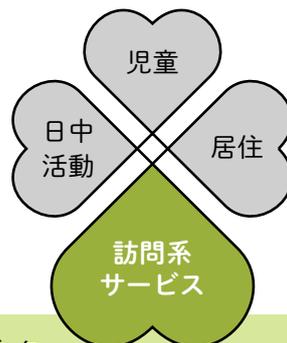
PROFILE

静岡県浜松市出身で山形大学医学部卒。初めに赴任した医療現場で「身体の治療だけではなく、精神のケアも重要である」と実感し、その後、精神科医の道を選択。県内各地の医療機関勤務を経て、平成23年、新庄明和病院に赴任、平成29年からは院長として活躍中。

新庄明和病院



新庄明和病院は、最上地区内で唯一の精神科病院です。精神科病院とは、精神疾患患者などの治療やケアに必要な専門職員がいて、入院・外来機能がある専門病院のことですが、以前は「精神」病院と呼ばれていました。しかし、平成18年に「精神科」病院という表現に法律で統一され今に至っています。



障がい福祉サービス

ヘルパーの派遣や外出の付き添いなど、自宅での安心できる暮らしのための支援をします。居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、重度障害者等包括支援、同行援護、行動援護。

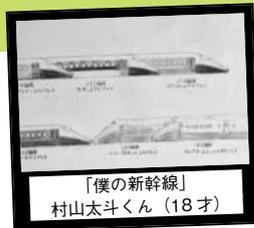
- 【A】 共同生活援助(グループホーム)というサービスがあります。お部屋の見学などを通して、本人が安心して生活できる場所を探していきますよ。
- 【Q】 仕事をしたいと考えているのですが…
- 【A】 就労系のサービスがあり、事業所と連携して見学や実習などを行い、就労につながる支援をします。
- 他にも、安心して過ごせる場所探しや、自宅での生活を継続していくためのヘルパー派遣の調整など、希望・要望はさまざまだと思います。ご本人やご家族の悩みが少しでも解決できるよう、行政機関や各福祉事業所などと連携をとりながら支援していきます！



「ハロウィン」  
甲州正樹くん (13才)



合作「秋のくだもの」  
田口里奈さん (17才)  
堀米悠斗さん (17才)



「僕の新幹線」  
村山太斗くん (18才)



「さくら」  
佐藤梓さん (24才)

## ～障がい児支援現場で活躍する三者による 座談会～

# 私たちに **できる** こと。私たちが **すべき** こと。

障がい児童を支援する現場の中で、障がいを持つさまざまなお子さんやその親と関わり、多くの経験を経てきた3名の方々に、そこで感じたことを語り合っていました。障がいそのものや周囲からの偏見などに悩む人々だけではなく、そうではない人々にも聞いてほしい生の声をお聞きください。

**齋藤** くれよんはうすは、自閉症の子の遊び場を作りたいという思いから始まりました。障がいのある子の活動の場はとても狭く、帰宅してカバンを置いて、その辺に遊びに行くことなどができません。そんな子どもたちの遊び場を自分たちで作るのはすごいことだと思ひ、私も関わるようになりました。前職で統合保育に取り組み、障がいのある子もいない子も一緒にいることや活動の場を広げることは当然だと思ひていました。開所した平成14年頃の感覚は今と全く違いました。放課後迎えに行くとき「重い障がいがあるのになぜ連れて行くの？ 私は頑張つて育児をしているのにこの子の親は何してるの？」という他の親の冷たい視線を感じたのです。その後制度が変わるにつれて預ける人は増え、子に障がいがあってもなくても、働くために子を預けるのは当たり前前の社会によくなくなってきた

事業所のこと・最近印象に残った出来事

預けることへの罪悪感。  
でも早いうちから関係機関と繋がった方が…。

印象があります。しかし、先日同じような活動を考えている団体から、こうした意見がまだあると聞き、預けることへの罪悪感がまだ根強くあるのだと感じました。  
**鈴木** 先日、障がい児への親による虐待対応に関わりました。この親は泣きながら「思い通りに育ててくれない、どうしたらいいだろう」と話していました。私は慰めることしかできず、勉強不足だと感じました。この件は関係機関が連携して解決しましたが、いろいろな機関の力を集結する重要性も感じた出来事でした。また、齋藤さんの話と関係しますが、親は自分の子を普通と違うのだと感じつつも、自分の努力不足が原因だと捉えている節があったのも印象に残っています。発達障がいだけではなく、きちんと検査をしないと有無がわからない病気、また、専門家の指導があつて初めて分かる対処法があります。上山や鶴岡にある専門機関は遠いし、診察まで半年待ちも普通です。すぐに見てくれる病院が

新庄にもほしいと思つています。  
**齋藤** 親がどう育てたらいいかわからないがゆえに虐待が起こるといふか、例えば知的障がいの子は声をかけるとすぐ反応してくれますが、発達障がいの子は呼んでも振り向かない、我が道を行くなど、育てにくさを感じてしまうのだと思ひます。それでつい怒鳴つてしまい、エスカレートして虐待につながるのではないのでしょうか。どの子どもも「育つ力」を持っています。その力を信じて引き出していく、それが私たちに与えられた使命だと思ひます。子どもたちの成長はとても長い階段のステップを数ミリ単位で登つてゆくようなものです。見落とさずに成長を喜び合いたいと思ひます。病院の話がありましたが、検討が進められていく県立新庄病院の中に、障がい児に関する機能が盛り込まれると助かりますよね。  
**岸** 先日受けた相談事例ですが、ある発達障がいと診断された4歳になる子がいて、その子にお片づけをするように「くるま片づけね」と言ったところ「は



NPO 法人 くれよんはうす  
代表 齋藤 千恵子さん



検査して初めてわかる病気や、  
専門家の指導があつて  
初めてわかる対処法がある。

い、わかりました。お片づけします！」

と好きなキャラクターの真似をして、  
兵隊のように答えたそうです。これは、  
もちろんそのような受け答えを母親  
が強いいるわけではなく、ことばの使  
い方を誤解しやすいという発達障がい  
の特性によるものだと考えられるので  
すが、それを聞いていた親戚から「まだ  
こんなに小さいのに、そんなに厳しい受  
け答えをさせているの!? だからいろいろ  
ろな大変なことをしてしまっただな！」  
と責められたそうです。こうした経験  
が頻繁にあつて悩んでいるという相談  
でした。これは、発達障がいや直面す  
る親の悩みに対する周囲の知識や理  
解が不足していることが原因だと思ひ  
ます。例えば、スーパーで子どもが大  
声で泣いて親が困っていること

があります。発達障がいの子は、  
自分の中で先の見通しが立た  
ないと、他の人より一層不安に  
なるという特性があります。こ  
のことを知っていれば「ああ、  
今見通しが立たなくて不安な  
んだな」と思えるようになりま



株式会社ライジングサポート  
児童デイサービス  
アニマートしんじょう  
管理者 鈴木 礼子 さん

す。本当は親に一声かけてあげられれ  
ば良いのですが、そこまではなかなかで  
きません。まずは知ること、そこから  
理解が深まっていくなと感じています。  
齋藤 最近は支援が必要とされる子  
が増えています。小学校に見学に行つ  
たときに、教室に「タイムタイマー」が  
あり、時間の長さが目で見て理解しや  
すい工夫がされていて嬉しくなりました。  
誰にでも理解しやすいと思います。

発達障がいや、直面する  
親の悩みに対する  
周囲の理解がもつと必要。



NPO 法人 ウイング  
キッズサポートことばのつばさ  
代表 岸 総一郎 さん

しらの工夫で、上手いかなかつたこと  
が上手くいくようになることはたくさ  
んあります。障がいや発達障がいのこ  
とを「成長の凸凹(でこぼこ)が大きい」とか「個  
性」などと捉える方がしっくりくる  
という人も増えてきています。冒頭「統  
合保育」という言葉がありました。が、  
齋藤先生の体験などを聞かせていた  
けますか？

また、医療的ケアが必要な児童が利  
用できる事業所が十分でないという課  
題がよく取り上げられます。多くの報  
道で胃ろうやたん吸引の必要性がク  
ローズアップされますが、医療的ケアに  
加えて多動傾向がある場合には、動け  
るようになることとそれまでとは違

子どもたちも、その子は歩けないという認  
識でしたが、七夕の準備で大きな笹を  
持ちこんだときの「さらさら」という音  
に反応して歩き出しました。音につら  
れて動き出したことに周囲の子ともた  
ちと職員が大喜びしました。  
小さいうちに、障がいのある子もな  
い子も一緒に過ごすことが重要だと思  
います。今、保育園などに発達障がい  
の子がいた場合、先生を多く配置でき  
る制度があります。これはこれで良い  
のですが、その子だけを支援すること  
は、ある意味隔離を促すことになりは  
しないかと不安です。先生が壁になつ  
て、他の子の迷惑にならないようにす  
るとか。「インクルージョン」の実現に  
は、共に育つことがとても大事です。

※子どもたちが区別なく共に学ぶ機会をつくっていくこと



「ミニーちゃん」  
鳥腹由充さん(6才)



「大好きな虫」  
甲州疏徠くん(8才)



「にじ」  
長澤優心くん(10才)



「どんぐりとぶどう」  
伊藤偉太くん(10才)

齋藤 先ほどの医療的ケア児のケースもそうでしたが、親がどうしようもできずに思いつめている場合は少なからずあって、本人だけではなく親のケアも重要だと思っています。利用相談があった際も、親が安心して育てられる

障がいのある子を持つ親のケアも

支援が必要になり、利用できなくなる事例がありました。親が子どもの成長を後悔するような世の中であってはならないと思います。その後、この子はトランポリンで遊んだり、他の子と関わりを持てるようになったりと大変成長を見せています。子どもが成長する力はすごいと思います。

鈴木 アニマトしんじょうは、遊びを通してルールやコミュニケーションを学び、一人ひとりの可能性を広げていく活動を大事にしていますが、子どもの成長に関し、最近驚かされたことがあります。子ども達は学校が終われば遊びたくて仕方なく、事業所に来るなり走り回っています。その中で、他の子との遊びに交ざらない小学一年生の子がいるのですが、ある日、別の子がプロップを横取りされている様子を見たとき、その場に駆け寄って「だめだよ。返して」と大声で注意し、返すまで離れませんでした。周囲を見ていないようでも、遊びを通して一步一步成長があるんだと思いました。



キッズサポートことばのつばさ

発達気になる子(未就学児～高校生)を対象に、一人ひとりの個性と自主性を大切にしながら子どもたちが持つ可能性を最大限に伸ばしていけるよう、お父さんとその家族の支援を行います。

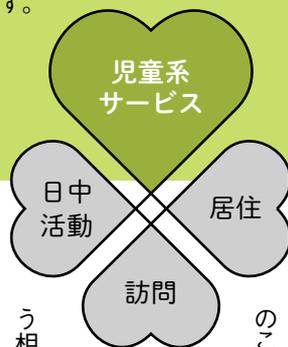
保育士や言語聴覚士、児童指導員が楽しく丁寧に支援しています。

アニマトしんじょう

「遊び」を通して精神的・身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的に自立ができるようになることを目標とした内容を考え、一人ひとりの発達段階に合った指導を行っています。

くれよんはうす

日常生活での動作の指導、集団生活に適應するための活動、トイレや身辺整理の自立、代弁を通して自分の思いを表現するための指導・訓練など、家族が安心できるように支援しています。



障がい福祉サービス

日常生活や集団生活のために必要な訓練を行い、障がいのある子どもの発達や自立を支援します。児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児入所支援（福祉型・医療型）。

ように、まずは親の話や悩みを聞く、そしてそこから少しずつ答えを導き出すよう努めています。

岸 私もそう思います。父母の悩み・困り感、それが一番大事ななと思います。言葉だけでは分からないこともあるので「目で聞く」などとも言いますが、どんな表情をしているか、どんな様子で来たか、落ち込んでいないかなど、そのあたりも良く見ながら相談を受けています。

鈴木 親とのコミュニケーションを踏まえて、関係機関なども連携しながら子どもをしっかり見守る、将来のことも考えてあげるといったことが私も大事だと思っています。

齋藤 祖父母から「育て方が悪いからこつなつた」と言われて悩んでいるという相談もあります。私も孫かわいさに、娘に対してあれこれ言っ

てしまいがちですが、場合によっては親の悩みが大きくなることもあります。こうしたケースでは、やはり理解を促すしかない。親が悪いわけではなく、その子の特性・個性なんだ、と理解してもらおうことしかないんじゃないですかね。

岸 祖父母が送り迎えする場合で、帰る時間になっても帰りがらない子に、どのように次の行動を促していくのかを祖父母と相談し、協力を請うときがあります。例えば「この後、何か楽しいことはありますか?」「ああそ



ういえばお菓子持ってきた」○○君お菓子あるんだって」と気を引くなど、楽しい見通しを与えるとうっと動きますね。特性について一緒に理解し合うわけです。そのうち対応がすぐ上手になり、ますます助かります。

**鈴木** 親よりも、祖母の迎えを喜ぶ子もいます。祖母はパンやお菓子をたくさん買ってくれるらしく、逆に親は「夕食を食べてもらえなくて困る」と文句を言っているようですが…この家庭でもありますよね。

最後にひとこと

**齋藤** 医療の発達や検査機会の増加により、最近は早い段階から自閉症などの診断がつくようになりました。まだ1歳半なのにと大きなショックを受ける親もいます。しかし、早いうちから関係機関とつながり、相談・対応が可能になることで、その後の親の困り感は薄くなります。早めに子の特性を知ることのできることで、結果として子どもと上手に関わることができるようになるのではないのでしょうか。困ったらすぐに相談してほしいです。

**鈴木** 子どもが楽しく安全に過ごせることが大事で、アミートでは常々これを考えていますが、そのためには関係機関や関係者、行政や学校、家族、地域と情報を共有していくことが重要だと思っています。大事なお子さんを、一



人ひとり大切に今後も見守っていきま

**岸** ある小学校の先生が授業中に障がいの説明をしたときのエピソードですが、先生が黒板消しを本棚の一番上に置いて、生徒に「黒板消しをとってください」と言いました。けれど、生徒は届きません。そして先生はこう言いました。「届かなくて取れませんよね。でもそれはあなた方が悪いのではないのです。こうやって台を持ってくれば届きますよね。歩けなかったり、耳が聞こえにくかったり、人付き合いが苦手だったり、読み書きが苦手だったり、何か困難を抱えていても、そのように何か周りの手助けがあればできるようになることはとても多い。そしてそれは障がいではなくあります。」子や孫がいる方はわかるでしょうが、子や孫の生まれ持ったものはみんな違う。もし困難があっても、みんなが工夫すれば障がいには障がいではなくあります。身近な大人が、子どもに「みんなの手助けがあれば、困難が困難ではなくなり、障がい障がいではなくなるんだ」といったことを伝えていくことが大切なことだと思います。「みんな違って、みんな良い」という言葉がありますが「いろんな人がいていいし、どんな人であっても大切にしてもらえんだ」ということを、大人が子どもに教え伝えていける地域にできればと考えています。



9/30 **第9回キッズ☆フェスタ**  
📍 市民プラザ



ダンスショーやフリーマーケット、創作体験などが行われました。

10/4 **ラジオ体操deプラス10**  
📍 ゆめりあ



86名がラジオ体操指導者の指導を受けながら、ラジオ体操を行いました。

10/6 **第31回もがみ大産業まつり**  
📍 ゆめりあ東口側会場



特産品の販売のほか、ステージショーや働く車の展示など、多彩な催しが行われました。

10/8 **出張!なんでも鑑定団in新庄**  
📍 文化会館



市内外から多数の鑑定申込があり、その中から6点のお宝が番組に取り上げられました。

10/8 **第26回クリテリウム新庄大会**  
📍 新庄中核工業団地特設コース



秋晴れの中、小学生から一般までの参加者がロードレースの熱戦を繰り広げました。

10/13 **第11回新庄味覚まつり**  
📍 駅前通り商店街・南本町商店街



市内外からの来場客が、秋の味覚を楽しみました。

10/18 **海援隊トーク&ライブ2018**  
📍 文化会館



超満員の会場は、楽しいトークとライブで最初から最後まで大いに盛り上がりました。

10/20 **第33回みちのく民話まつり**  
📍 旧矢作家



市内をはじめ県外から多くの方が集まり、囲炉裏を囲んで民話語りが行われました。

10/20-21 **東京湾大感謝祭**  
📍 横浜市大さん橋ホール



東京湾の再生イベントでの特別企画として、本市のふるさと納税をピーアールしました。



# 10月のまちかど PICK UP!

## 「新庄亀綾織」お披露目会開催

10月6日(土)～7日(日)

県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」

「幻の織物」とまで言われた「新庄亀綾織」の着尺地の反物が、約100年の時を経て、新庄亀綾織伝承協会の手によって織り上げられました。これを記念し、お披露目会が開催されました。「新庄亀綾織」の他にも、一部機械織や化学染めを含み、小物などの生地に用いる「新庄綾織」と、京都西陣織の手法を取り入れた、主に帯に用いる「最上新庄織」も紹介されました。しっとりとした風合いと気品ある光沢、しなやかな手触りの「新庄亀綾織」に多くの来場者が感嘆していました。



▲亀綾織の展示品に見入ったり、担当者に質問をする来場者



▲亀綾織の手触わりと織りをルーペで確認している来場者



▲新庄亀綾織(左から3、4番目)と新庄綾織(他3反)の反物

10/21 10月のキトキトマルシェ  
エコロジーガーデン



つきたてのお餅が振る舞われ、来場者は新米をはじめ秋の味覚を堪能していました。

10/24 新そば打ち目ざろえ会  
空蔵四季の家



そばまつりに向けて、アマチュアそば打ち名人たちの目ざろえ会が行われました。

10/28 第2回新庄いものこハーフマラソン  
市内・東山陸上競技場ほか



全国各地から800人を超える参加があり、秋に彩られた市内で健脚を競い合いました。

# 2年目の しんじょラボ

平成29年5月に活動をスタートした「しんじょラボ」。2年目の今年度は、女性だけではなく男性も対象とした活動を展開し、より良い家庭生活を築くための調査研究を行ってきました。

今回は、これまでの活動の経過と今後の予定をお知らせします。

◎詳しくは、総合政策課企画政策室まで。Tel内線236

## 新庄で安心の家庭生活を

女性の 女性による 女性のための新庄暮らし研究所」として立ち上がったのが「しんじょラボ」。現在、本市の出生数は減少傾向にあります。その原因の一つとして婚姻数が増えていないことが挙げられます。

そこで、これから結婚や子育てを迎える若い世代の方に、新庄での結婚生活や子育て生活の様子を知ってもらい、新庄での家庭生活を安心して送ってもらえるよう、情報発信をしていこうということで始まりました。

## 活動1年目の昨年度は

昨年度は、子育て世代の女性を対象に3回の意見交換会を実施し、市内で結婚し子育て生活を送る女性の声を集めました。また、市内の高校生と家庭での男女の家事分担について考えるワークショップの開催に加え、20代から30代の子育て中の女性を対象にしたアンケート調査を実施しました。アンケートでは、1日の過ごし方を結婚前後・子育て中で比較した「しんじょの一日」、結婚前後での心境の変化や先輩しんじょからのメッセージ、新庄で暮らす「しんじょ」の結婚・子育て生活の現状などの情報を集めました。

これらの交流会の内容やアンケートの結果をまとめたものが、冊子『yell』です。これから結婚・子育てを迎える方だけではなく、今まさに結婚・子育て生活を送っている方も、悩みや不安を解消する一助となる内容になっています。ぜひご覧ください。

## 今年度は男性も

今年度は、市内で結婚・子育て生活を送る世帯の、特に男性の声を集めようと活動しています。6月には新婚世代を対象に、結婚生活のモデル夫婦を講師としてコーヒーマーの淹れ方講座を交えた意見交換会を開催しました。また、10月には0歳〜2歳の子育て世帯を対象に、絵本の読み聞かせのコツなどを学ぶワークショップを交えた交流会を開催しました。参加者からは「こうした機会を通じて情報交換できるとうれしい」という声をもらいました。

今後も、ワークショップを交えた意見交換会を実施します。また、子育て中の男性を対象にしたアンケート調査も実施し、新庄での結婚・子育て生活や新庄の「イクメン」の様子をまとめ、お伝えします。



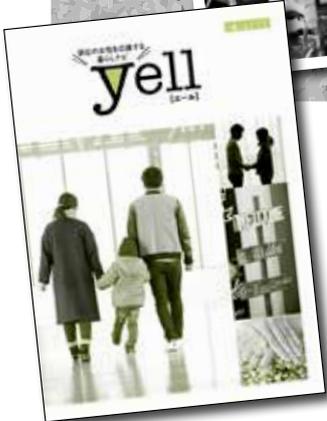
2017.5.21 SUN @ エコロジーガーデン



2017.7.19 SUN @ エコロジーガーデン



2018.6.30 SUN @ ラボラトリーカフェ



◀yellはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます



▲10月に開催した交流会。男性4名、女性3名にご参加いただきました。絵本やお手玉などを使って子どもと触れ合いながら、おすすめの絵本の紹介など楽しく意見交換できました

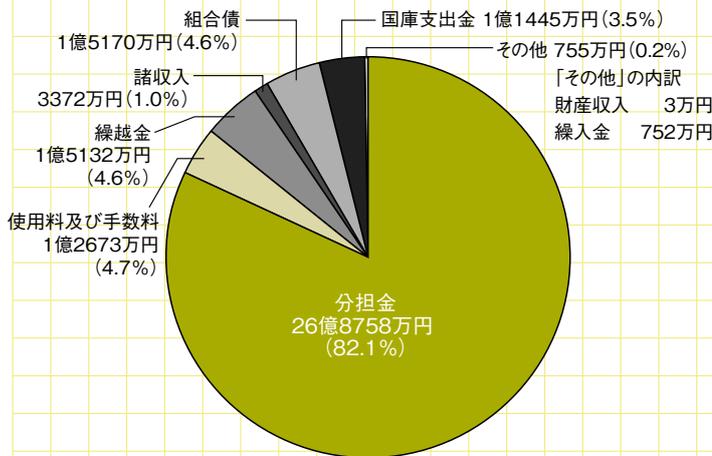


# 平成29年度最上広域市町村圏事務組合

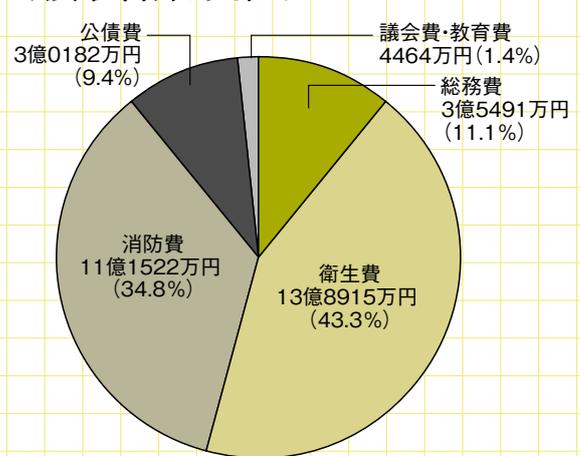
# 決算概要

最上広域市町村圏事務組合議会10月定例会で、平成29年度決算が承認されました。一般会計歳入総額32億7305万円(前年度比3369万円の減)、同歳出総額32億0574万円(前年度比5033万円の増)となっています。

一般会計歳入 32億7305万円



一般会計歳出 32億0574万円



## 分担金の内訳

区分	29年度決算	構成比(%)	対前年増減
新庄市	10億8202万円	40.3	▲2777万円
金山町	2億1337万円	7.9	▲624万円
最上町	3億1866万円	11.9	▲766万円
舟形町	1億8189万円	6.8	▲370万円
真室川町	2億9409万円	10.9	▲1508万円
大蔵村	1億2975万円	4.8	▲426万円
鮭川村	1億5355万円	5.7	▲1091万円
戸沢村	1億8496万円	6.9	▲281万円
交付税措置分	1億2929万円	4.8	▲9577万円
計	26億8758万円	100.0	▲1億7420万円

## 一般会計の主な事業

区分	29年度決算	対前年増減
広域交流センター「ゆめりあ」管理運営費	8047万円	217万円
エコプラザもがみ管理運営費	7億7887万円	2539万円
リサイクルプラザもがみ管理運営費	2億0911万円	251万円
もがみクリーンセンター管理運営費	3億9410万円	9756万円
消防・救急業務運営費	11億1522万円	▲2996万円
教育研究センター管理運営費	4354万円	▲4343万円
公債費(借入金返済)	3億0182万円	▲7726万円

## 特別会計決算

	歳入	歳出
最上広域ふるさと市町村圏事業	1195万円	994万円
主な事業		
沖縄との交流事業(780万円)		
もがみ大産業まつり開催事業補助金(180万円)		

エコプラザもがみでは基幹的設備改良工事を実施し、処理能力の改善、施設の延命化を図りました。また、もがみクリーンセンターでは新たに予備貯留槽の設置工事を行い、し尿の安定的な処理を図りました。衛生費の総額は、13億8915万円(前年度比1億2589万円の増)となりました。消防費は、消防ポンプ自動車・水槽付消防ポンプ自動車を購入しましたが、前年度に西支署庁舎建設工事が終了したことに伴い、消防費の総額は11億1522万円(前年度比2996万円の減)となっています。教育研究センター費につきましては、移転に伴う旧庁舎の解体工事の終了により4354万円(前年度比4343万円の減)となりました。

最上広域市町村圏事務組合は、最上8市町村の皆さんの生活に密着した消防、ごみ・し尿処理などの業務を効率的に進めることを目的として設立された団体であり、今後も安全で安心して暮らせる地域づくりを目指し、事務事業の円滑な推進と経費の削減に努めていきます。

## 今月の新着

### 一般図書

童の神……………今村 翔吾  
 白銀(しろがね)の巫女……………乾石 智子  
 ハマる縄文!? PHOTO BOOK……………山岡 信貴  
 「その後」のゲゲゲの女房……………武良 布枝  
 愛なき世界……………三浦しをん  
 チキンラーメンの女房 実録安藤仁子

……………中央公論新社  
 稼げる!新農業ビジネスの始め方……………山下 弘幸  
 想い人……………諸田 玲子  
 修復家だけが知るストラディヴァリウスの真価  
 ………………中澤 宗幸  
 すべての男は消耗品である。最終巻……………村上 龍

### 児童書

大好き!おじさん文庫……………深山 さくら  
 パフェをつくらう!……………新井 洋行  
 きっちり・しとーるさん  
 ………………おの りえん  
 オオインさん  
 ………………北村 直子  
 きのこレストラン  
 ………………新開 孝  
 ふうせんゆらゆら  
 ………………とよた かずひこ



## インフォメーション

### 新庄市教育の日 コスモスデー だがしや楽校 体験ブース

- とき 11月10日(土)10時~12時
- ところ 市民プラザ
- 内容 手作りしおりをつくらう

### わらすこワンダーランド 出前図書館

- とき 11月17日(土)  
10時15分~13時15分
- ところ わらすこ広場
- 内容 かやのみ会・新庄南高校図書委員  
によるおはなし会と図書の貸出

本とひとつをつなげる空間

# 図書館に行こう!

本を片手に新庄のまちにでかけよう!!

## 認知症に寄り添うまちづくり を図書館から!

図書館では初めて、市社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携し、認知症に関するさまざまな事業を行いました。

市内福祉施設に協力してもらい「市の高齢者施設・介護施設を知ろう!」と題した展示を館内で行い、介護の本や各施設のパンフレット・介護保険のチラシを設置し、市内の福祉施設と支援内容を紹介しました。

また、駅前通りの「ひと休み いっぱく」に司書が向き「読書の秋!そうだ図書館に行こう」という題名でミニ講話を行いました。この講話では、タブレット端末で図書館の中や庭園の写

## 今月のブック・チャージ

真を見てもらったり、字が大きく読みやすい本を紹介したりすることで、散歩や買い物などのときに図書館に立ち寄り、読書を楽しんでもらうことをおすすめしました。

さらに、認知症のことを学び、認知症の方やご家族を地域で支えるための「にんちしょうサポーター養成講座」を図書館で開催しました。受講した方々にはDVDやテキストで学んだ後にグループで話し合ってもらい、サポーターの証であるブレスレット「オレンジリング」を差し上げました。

図書館では「認知症予防におすすぬ図書館利用術」(結城俊也・著、日外アソシエーツ発行)や、ユマニチュード(本人と家族のための認知症ケアの手法)の本など、認知症に関する新しい取り組



▲「にんちしょうサポーター養成講座」での事例発表風景

みが書かれた本を用意しています。これらの本をきっかけに、認知症の方が住み慣れた地域で、心おだやかに暮らせる、そんなまちづくりに参加してみませんか。

## 最上地域で10年以上の実績! お気軽にご相談ください 新庄ひまわり基金法律事務所

<破産・過払い金> 債務整理初回相談無料  
 離婚・相続・交通事故・その他法律相談など  
**法テラス無料相談取扱あり**



山形県弁護士会所属 〒996-0024 新庄市多門町2-7ネバランドビル2階  
 弁護士 千葉剛志 ☎0233-28-7062

ボディコンディショニングスペース

うめ本  
さくら

一方通行

末広公園

I Laught  
さん

はり・きゅう

SORA

至新庄駅

新庄市末広町14-62コーポビル1-D  
 受付時間 9:00~19:00(火曜祝日定休)

お問い合わせ、ご予約は ☎0233-32-0663 代表 海藤直子

## 新庄市市営バス

# まちなか循環線 運行開始!

このバス停が目印です!



買い物、通院、通学や公共施設などへの移動手段として  
新たなバス路線の運行を開始します。

バスはJR新庄駅を起点として、市街地を2路線4系統で運行します。

乗降口はノンステップで、車いすを利用する方やベビーカーをお持ちの方も  
安心して利用できます。

まちなかへのお出かけに、ぜひご利用ください。



### 停留所一覧

#### 【北部エリア】

停留所名	共用バス停
新庄駅前	新庄市営バス
JA新庄市前	
市役所前	
図書館前	鮭川村営バス
小田島町	
老人福祉センター前	山交バス(片)
堀端町	
北高口	鮭川村営バス
河原町	鮭川村営バス
郷野目ストア検町店前	
小松室団地前	
渡部餅屋前	
鍛冶町	山交バス
マックスバリュ新庄店	
円満寺入口	新庄市営バス
万場町	新庄市営バス
横町	山交バス
住吉町	
県立病院前	新庄市営バス

#### 【南部エリア】

停留所名	共用バス停
新庄駅前	新庄市営バス
野球場前	
東山町	
東山薬局前(右回り)	
わかば調剤薬局東山店前(左回り)	
ヤマザワ新庄店前	
同人社前	
JA新庄市前	
市役所前	
図書館前	鮭川村営バス
小田島町	
老人福祉センター前	山交バス(片)
ナカムラ薬局前(右回り)	
ベッククリニック山科前(左回り)	
千門町	
新町	
ヨークベニマル新庄下田店前	
清水川町	山交バス
県立病院前	新庄市営バス

■運行日 月曜日～金曜日(祝日・年末年始・新庄まつり期間は運休)

#### ■運賃

区分	運賃	備考
高校生以上	200円	
小中学生	100円	
未就学児	無料	
障がい者	100円	障害者手帳など、確認ができるものをお持ちください

■利用方法 運賃は前払いです。ご乗車の前に運賃をご用意ください。

ご降車の際はボタンを押してお知らせください。

※運行経路や運行時間は、10月中旬に全戸配布したパンフレットか、右記二次元バーコードからご覧ください。



◎循環バスの運行については、山交バス(株)新庄営業所まで。TEL22-2040

◎市営バス事業については、総合政策課企画政策室まで。TEL内線236

(片):車線の片側のみが共用バス停



**マイプレイタイム再始動!**

毎週金曜、10時30分～(80分間、自由遊び+ミニレッスン)0歳～就学前の生徒対象。

1回500円でどなたでもご参加いただけます。外国人講師と楽しく遊んで自然に英語に親しみましょう!

**マイ英語スクール・新庄校** TEL32-1377  
こらっせ新庄1階 / myeigo.com

**カイセイ3つのデイサービス**

**カイセイ  
デイサービス**

最新機器での機能訓練、  
庭を見ながらのお風呂や  
ウォーターベッドマッサージリラックス。

新庄市東広町7-4  
TEL 29-2912

**カイセイ  
ホーム・デイ**

お泊り可能な少人数デイ。  
美味しい食事とともに  
快適な生活を約束します。

新庄市東広町7-3  
TEL 29-2912

**カイセイ  
ほっと新庄**

広々ゆったりとした空間で  
カフェのようなくつろぎの  
ひとときをご体感ください。

新庄市大字奥田  
字下利池19-72  
TEL 25-2312



	35,926人	(36,401人)	9月の異動	
9月末現在の 新庄人	男 17,133人	(17,336人)	出生	28人 (15人)
	女 18,793人	(19,065人)	死亡	32人 (35人)
	世帯数 13,940世帯	(13,890世帯)	転入	60人 (76人)
			転出	64人 (64人)

※( )は1年前の日本人+外国人の数です。

### まちかど介護相談

◎成人福祉課高齢者福祉推進室 Tel内線550  
グループホームふきのとう Tel28-0771

- とき 11月20日(火)14時～16時
- ところ スマイルガーデンふきのとう
- 内容 認知症ケアなどのさまざまな悩みへの個別アドバイス ※先着15名に認知症ロール(トイレットペーパー)プレゼント!

### いきいき塾かつろく(体操教室)

◎かつろくの里 Tel28-7870

- 対象 65歳以上
- とき 11月21日(水)10時30分～ ※受付10時～
- ところ かつろくの里
- 内容 リハビリ専門スタッフによる自宅でできる簡単な体操など
- 参加費 無料 ■定員 30名

### 市民プラザからのお知らせ

◎市民プラザ Tel22-4200

#### 園芸教室

■とき 12月2日(日)10時～12時  
■ところ 市民プラザ3階創作実習室  
■内容 X'masを彩るリース作り  
■講師 花の風の会 ■参加費 2,000円  
■定員 24名 ■申込締切 11月25日(日)

#### 男のエンディングセミナー～初めての終活～

■とき 12月14日(金)14時～16時  
■ところ 市民プラザ小ホールほか  
■内容 終活セミナー講座編「エンディングノートの書き方」 ■定員 50名

### 地元で働くセンパイを知ろう!「働くってナンだ?」

◎NPOもがみ Tel090-6687-1007

- 対象 小学5年生～中学2年生(保護者の見学可) ■とき ①11月25日(日)、②12月9日(日)両日とも13時30分～16時
- ところ わくわく新庄2階研修室
- テーマ ①農業・製造業・建設業などのセンパイを囲んで、②医療福祉・デザイン・教員などのセンパイを囲んで
- 参加費 無料 ■定員 20名
- 申込締切 11月16日(金)

### 雪の里情報館からのお知らせ

◎雪の里情報館 Tel22-7891

#### 雪調勉強会

■とき 11月30日(金)18時～19時  
■ところ 雪の里情報館1階ライブラリー  
■内容 雪国新庄の建物を読みながら故郷の未来を考える  
■講師 中村出 氏、水越啓二 氏  
■参加費 無料 ■定員 30名  
■申込締切 11月29日(木)

#### ワークショップ しめ飾り作り

■とき 12月2日(日)9時～12時  
■ところ 雪の里情報館2階雪国文化ホール  
■内容 魔除けのしめ飾り作り(わら細工)  
■講師 工房スロー主宰 高橋伸一 氏  
■参加費 600円(材料代)  
■定員 30名 ■申込締切 11月30日(金)

### 不動産無料相談会

◎山形県宅地建物取引業協会新庄もがみ・黒坂 Tel29-7333

■とき 11月30日(金)15時～17時  
■ところ 市民プラザ

### プロが教えるリースの作り方

◎事務局・鏡 Tel090-8612-8599

■とき 12月8日(土)13時～15時  
■ところ 市民プラザ第2研修室  
■内容 針葉樹を使用したワイヤーテクニクによるリース制作  
■参加費 3,500円(材料代)  
■定員 8名 ■申込締切 11月30日(金)  
■持ち物 はさみ

### そば打ち体験教室

◎わくわく新庄 Tel23-0197

■とき 12月15日(土)10時～13時  
■ところ わくわく新庄創作実習室、2階給湯室  
■内容 本格二八そばの打ちたて・茹でたてを楽しもう ■講師 遠藤敏信 氏  
■参加費 1,000円 ■定員 12組  
■申込締切 12月5日(水)  
■持ち物 エプロン、手ぬぐい(タオル)

### 催しなど

#### 第29回かもしかお楽しみ会

■とき 11月18日(日)9時30分～11時45分  
■ところ ゆめりあ花と緑の交流広場  
■内容 市内幼稚園などの幼児による歌・遊戯などのほか、交通イベント  
■参加費 無料  
◎環境課地域防災室 Tel内線438

### 第19回みつばちフォーラム 新東の魅力 一目瞭然

■とき 11月23日(金・祝)①8時50分～10時40分、②11時～12時10分、③12時15分～12時40分  
■ところ 新庄東高等学校  
■内容 ①映画上映・舞台挨拶、②分科会、③全体会・閉会行事  
◎新庄東高等学校 Tel22-1562

### 第40回新庄市総合体育大会

■とき 12月9日(日)  
■ところ 市体育館  
■競技 ソフトテニス(一般の部)  
◎新庄地区ソフトテニス連盟・川田 Tel090-6627-0478

### ベートーヴェン「第九」演奏会

■とき 12月16日(日)開場13時、開演14時  
■ところ 市民文化会館大ホール  
■内容 市民公募による合唱団と山形交響楽団が贈る34年ぶりの第九演奏会  
■曲目 ベートーヴェン/歌劇「フィデリオ」序曲 作品726、ベートーヴェン/交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」  
■演奏 管弦楽:山形交響楽団、指揮:阿部未来、ソプラノ:田中麻理(新庄市出身)、アルト:江口順子(新庄市出身)、テノール:黒田大介(天童市出身)、バス:井上雅人(新庄市出身)  
■入場料 前売一般2,000円、前売高校生以下1,000円(当日はいずれも500円増)  
■入場券取扱先 市民文化会館、市民プラザ、(株)田澤丸井八文字屋  
◎市民文化会館 Tel22-7029

五日町 清水川

コインランドリー

洗剤 持込OK!! スピード 乾燥

フォルテ

格安料金、布団、絨毯も可

コインランドリーフォルテ&しみずの湯  
TEL: 0233-28-0020 山形県新庄市五日町清水川

公文式 11月無料体験学習受付中!

学習期間 11月16日(金)～11月30日(金)

上記の期間中に2週間で4回、教室で公文式学習を体験していただける機会です。  
●費用/無料 ●対象/幼児、小学生、中学生、高校生以上  
●教科/算数・数学、英語、国語 1教科でも複数教科でも、ご希望に合わせて学習できます。

Baby Kumon お試しキャンペーンも実施中!

①教室でBaby Kumon お試しパックをお渡します。  
②ご家庭で2週間お試し頂けます。  
③教室にて先生とBaby Kumon タイムを実施致します。  
対象 0～2歳のお子さまとお母さま

お問い合わせはお近くの教室か、下記フリーダイヤルへお気軽に。  
ミンナニヒックテン  
0120-372-100 (受付時間/9:30～17:30)

公文教育研究会 山形事務局  
山形市香澄町 3-1-7  
朝日生命山形ビル 12F

## 11月は「ねんきん月間」、11月30日は「年金の日」です!

厚生労働省と日本年金機構では、国民の皆さまに公的年金制度に対するご理解を深めていただくために毎年11月を「ねんきん月間」としています。また、『国民お一人お一人、「ねんきんネット」などを活用し、高齢期の生活設計に思いを巡らせていただく日』として、11月30日を「年金の日」としました。この機会に「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で、ご自身の年金記録と年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。「ねんきんネット」を利用すると、自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込額について、自身の年金記録をもとにさまざまなパターンを試算することができます。「ねんきんネット」は、日本年金機構のホームページで確認するか、新庄年金事務所にお問い合わせください。

◎新庄年金事務所 Tel22-2050 / 市民課 Tel内線133-134

## 農業用廃プラスチック・ビニール回収日

- とき ①11月26日(月)9時～11時、②26日(月)13時30分～15時、③27日(火)9時～10時15分、④27日(火)10時30分～11時、⑤28日(水)9時～11時および13時30分～15時
  - ところ ①新庄市農協東部ライスセンター、②新庄市農協仁間倉庫前、③もがみ中央農協昭和支店前、④最上中央農協塩野倉庫前、⑤もがみ中央農協萩野支店中央倉庫前
  - 内容 農業用廃プラスチックおよびビニールの回収 ■手数料 50円/kg
- ◎農林課農業振興室 Tel内線262

## 「夜間・土曜日・日曜日」納税相談窓口開設

- 対象 市税の納税や相談を希望する方
  - とき 11月30日(金)～12月6日(木) 平日8時30分～19時30分、土曜日・日曜日9時～16時30分
  - ところ 税務課④～⑥番窓口
  - 内容 市税の納税の相談(当日の納税も可)
- ◎税務課 Tel内線150

## 奨学金返還を支援します

- 対象 次の要件を全て満たす方①大学などに在学、②日本学生支援機構の奨学生、③卒業後県内該当職種に就職希望
  - 支援内容 次のいずれか低い額を上限として奨学金返還時に一括支援①4月以降に奨学金の貸与を受けた月数に2万6千円を乗じた額
  - ②奨学金返還残高
  - 定員 2名
  - 申込締切 12月5日(水)
- ◎教育総務課 Tel内線449



## 市営住宅入居者募集

- 申込資格 次の全てに該当する方  
住居に困窮している、単身入居ではない(60歳以上は単身可)、収入基準に合う、税金の未納がない、暴力団員ではない

募集住宅	家賃	入居可能日
北新町団地1戸	13,700円～	12月25日(火)
玉の木団地3戸	11,700円～	
野際団地4戸	14,500円～	
小松山団地1戸	24,800円～	11月21日(水)
東山団地1戸	16,100円～	11時～15時

- 申込期間 11月19日(月)～26日(月)9時～17時(26日(月)は19時まで)
- ◎都市整備課建築住宅室 Tel内線523-524

## 指名手配被疑者の検挙にご協力を!

◎新庄警察署 Tel22-0110

全国での指名手配被疑者数は8月末時点で約660名にのぼっています。警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定し、11月中に総力を挙げて追跡調査を行い、早期検挙に取り組んでいます。指名手配被疑者によく似た人を見かけたなど、どんな些細なことでも結構ですので、警察に通報していただくようお願いいたします。

## 県営住宅入居者募集

◎(株)西王不動産最上事務所 Tel23-3116

- 募集期間 12月3日(月)～7日(金)9時30分～17時
- 募集住宅 県営若葉東アパート2号棟(1戸)
- 入居資格 同居親族要件・収入要件・その他資格要件あり
- 家賃 15,700円～23,500円(収入要件・その他資格要件による)
- 敷金 家賃の3ヵ月分
- 優遇措置対象 身体障がい者世帯・高齢者世帯・母子世帯・生活保護世帯・精神障がい者世帯・知的障がい者世帯・多子世帯・東北地方太平洋沖地震に伴う地震、津波などによる被災者、福島原発事故に伴う避難指示などがなされている世帯

## 第10回最上伝承野菜フェア

◎最上総合支庁農業振興課 Tel29-1316

- とき 11月12日(月)～12月9日(日)
  - ところ 最上管内の飲食店・旅館・産直施設など24店舗
  - 内容 最上伝承野菜を使った料理・パン・お菓子・野菜などの販売
- ※豪華景品が当たるスタンプラリーも開催。

## ストレッチ・エクササイズセミナー

◎市体育協会 Tel22-0681

- とき 11月17日(土)13時～16時30分
- ところ 市体育館
- 内容 体のこわばり・筋肉・靭帯の状態を整え自分でメンテナンスできるエクササイズを学ぶ
- 講師 齊藤邦秀氏 ■参加費 無料
- 申込締切 11月13日(火)

## プリで作るクリスマスの壁飾り

◎事務局・佐藤 Tel090-6629-7868

- とき 11月18日(日)10時～12時
- ところ 市民プラザ第1研修室
- 内容 プリザーブドフラワーのヒムロ杉を使ったツリーの壁飾り作り
- 参加費 3,500円(材料代)
- 定員 5名 ■申込締切 11月15日(木)
- 持ち物 はさみ、ボンド

毎月第2・4 土曜日 11:30～15:00

# 鳥市

新庄駅前の鶏肉店「鶏や」にて開催!!

- ◆工場直送精肉店 営業時間 / 11:30～15:00
- ◆憩いの立ち飲み屋 営業時間 / 17:00～20:30



新庄市沖の町2-28  
TEL.0233-32-0531 日曜定休日

0からこだわり抜き、芸術域に達したインテリア



## Steelart JUN

職人が生み出す世界に一つの作品



鉄の加工だけではなく、デザイン・設計・木材の加工・塗料の調合・塗装まで、全ての工程を(有)高喜鉄工のメンバーで担います。

## 職人の芸術作品

普段は鉄の切断や溶接などの加工を行い、建築物の部品を製作している(有)高喜鉄工の方々。スチールアートは取締役の高山喜代美氏が持ち前の技術を活かした趣味として始めたものだそうです。手作りでこだわり抜いた作品は知り合いに喜ばれ、展覧会に出展されるまでになり、芸術的なインテリアとして販売されるようになりました。



(有)高喜鉄工  
取締役 高山喜代美氏

デザインはふと思いついたときに、手近な紙に描き起こし、設計段階になったら原寸大に描き直します。バーナーを使って鉄を焼き切り、必要なサイズの材料を切り出します。ガウジング（熱で鉄を溶かして飛ばし、溝を掘る手法）で模様をつけ、刀鍛冶のごとく鉄を熱して叩き、鉄の強度を上げることで、Steelart JUNの作品は何代にも渡って風化せずに使えるとのことでした。

作品の細かい部分は、(有)高喜鉄工で使った鉄の端材を切断・溶接・研磨することで装飾します。鉄の持つ直線的なイメージを払拭し、面白い曲線

の作品が作りたいたいという思いで、レーザーなどは使わず一本一本を手作業で曲げています。

椅子の木材部分にもこだわりがあり、高山氏自身が目利きして厳選したものを自ら切断・研磨して使用。高山氏が試行錯誤の末に編み出したオリジナルの調合で独特な色合いと味わいをだした塗装を何度も施し、乾いたものを組み立てて完成です。

高い品質と芸術性を兼ね備えた職人制作の椅子は、一脚作るのに2~3カ月もかけているそうです。

個性ある鉄の曲線と、温もりある天然木の組み合わせはアンティークな色合いと相まって、部屋に飾ることで癒しの空間を生み出します。



▲職人の手で仕上げられた高級感のある鉄製の椅子